令和８年度第７回薬事審議会化学物質安全対策部会化学物質調査会、令和８年度化学物質審議会第３回安全対策部会、第 269 回中央環境審議会環境保健部会化学物質審査小委員会

令和８年１１月９日	資料１－２

優先評価化学物質として指定することが適当であると考える物質に関するスクリーニング評価結果詳細（人健康影響）（案）

識別情報					暴露クラス		優先度	有害性クラス																											
														一般毒性							生殖発生毒性						変異原性							発がん性	
No.	選定方法	評価単位分類	CAS登録番号	名称	分解性	暴露クラス分解性考慮	優先度	有害性クラス	有害性クラス備考	一般毒性	生殖発生毒性	変異原性	発がん性	NO（A）EL等［mg/kg/day］（換算値含む）	LO（A）EL採用によるUF（NO（A）ELの場合は1）	試験期間によるUF（90日未満6、1年未満2）	重大性UF	UF合計	有害性評価値［mg/kg/day］	情報源	NO（A）EL等［mg/kg/day］（換算値含む）	LO（A）EL採用によるUF（NO（A）ELの場合は1）	UF_試験の質（1世代試験は10）	UF合計	有害性評価値［mg/kg/day］	情報源	① Ames試験（復帰突然変異試験）	② in vitroほ乳類染色体異常試験	③ その他invitro試験	④ in vivo小核試験	⑤ その他invivo試験	⑥ 化管法変異原分類	情報源	発がん性分類	備考
1	優先度高	CAS単位	123-86-4	酢酸ブチル	良	1	高	4		外	4	外	情報なし	95				100	0.95	ACGIH	449	1	10	1000	0.4	ACGIH	陰性	陰性		陰性			SIDS, JECFA, AU-NICNAS, MAK, ACGIH, CICAD, Patty, NTP-DB, 安衛法変異原, ECHA	情報なし	
2	優先度高	CAS単位	637-92-3	２－エトキシ－２－メチルプロパン	難	3	高	2		外	4	外	2	1					1	IRIS	300	1	10	1000	0.3	IRIS, ACGIH	陰性	陰性	Hprt陰性	陰性			NTP-DB, ACGIH, ECHA, GHS	2	USEPA: S, ACGIH: A4
3	優先度高	CAS単位	75-65-0	２－メチルプロパン－２－オール	難	3	高	2		4	4	外	2	0.4					0.4	IRIS	400	1	10	1000	0.4	AU-NICNAS, HPV-IS, 環境省リスク評価, NITE有害性評価書, Patty	陰性	陰性	MLA陰性	陰性			IRIS, AU-NICNAS, HPV-IS, NITE有害性評価書, 環境省リスク評価, ACGIH, NTP-DB, Patty, MAK, GHS	2	IARC:3; IRIS: S; ACGIH: A4; GHS: 2
4	専門家詳細評価【資料1－3】	CAS単位	108-31-6	フラン－２，５－ジオン	良	4	中	2		2	外	外	情報なし	0.004				100	0.00004※1	ACGIH	55	1	1	100	0.55	SIDS, AU-NICNAS, CICAD, MAK, ACGIH, NITE初期リスク評価書	陰性	陽性	Hprt陰性		骨髄CA陰性		SIDS, AU-NICNAS, カナダEPA, NTP-DB, MAK, ECHA, 環境省初期リスク評価, NITE初期リスク評価書, 産衛	情報なし	ACGIH: A4
5	指定取消物質 専門家詳細評価【資料1－4】	優先評価化学物質時の通し番号154		クロロベンゼン	難	4※2	中	2		3	3	2	2	0.008					0.008	カナダEPA	32	1	10	1000	0.032	HPV-IS, 環境省リスク評価	陰性	陰性	MLA陽性	陽性	骨髄CA陽性, DL陰性	クラス1	IRIS, ATSDR, AU-NICNAS, WHO水, HPV-IS, NITE初期リスク評価, 環境省リスク初期評価, ACGIH, MAK, 化管法ハザードデータ, NTP-DB	2	IRIS: D, ACGIH: A3, GHS: 区分2

※1　ヒトおよび動物でみられた呼吸器感作性を根拠に導出された TLV-TWA 0.01 mg/m^3 (0.0025 ppm)を、「体重 50 kg、呼吸量 20 m^3/day」として経口換算した 0.004 mg/kg/day を、不確実係数 100（労働者の作業環境ではない一般環境での一般人への外挿）で除した 0.00004 mg/kg/day を有害性評価値とした。この TLV-TWA は、微粒子だけでなく蒸気も考慮されており、また、呼吸器感作性だけでなく、刺激性を有する本物質をラットやハムスターに６か月間反復吸入暴露したことにより誘発された一般毒性影響（鼻腔における炎症性変化、粘膜の過形成及び扁平上皮化生）も考慮されている。

※２　「スクリーニング評価における専門家による詳細評価と判断基準」に基づき PRTR 排出量による暴露クラスを見直したところ、暴露クラスは「３」となり、優先度が「高」となる。

優先評価化学物質として指定することが適当であると考える物質に関するスクリーニング評価結果詳細（生態影響）（案）

No	選定方法	評価単位分類	物質名	分解性	暴露クラス（分解性考慮）	優先度	有害性クラス	高分子	アミン類	PNEC(mg/L)	根拠		藻類(mg/L)				ミジンコ類(mg/L)				魚類(mg/L)				備考
										（A）／（B）	最小値(mg/L)	UFs	急性毒性値	EC50/UFs	慢性毒性値	NOEC/UF	急性毒性値	EC50/UFs	慢性毒性値	NOEC/UF	急性毒性値	LC50/UFs	慢性毒性値	NOEC/UF	
											（A）	（B）	（EC50）	（ACR*種間外挿）	（NOEC）	（種間外挿）	（EC50）	（ACR*種間外挿）	（NOEC）	（種間外挿）	（LC50）	（ACR*種間外挿）	（NOEC）	（種間外挿）	
1	優先度高	単位検討物質	*N*，*N*，*N*－トリメチルイコサン－１－アミニウムの塩又は*N*，*N*，*N*－トリメチルテトラコサン－１－アミニウムの塩又は*N*，*N*，*N*－トリメチルドコサン－１－アミニウムの塩	難（デフォルト）	3	高	2			0.0025	0.128	50	3.48		0.78	0.156	1.39		0.128	0.0256	3.5	0.035			
2	優先度高	単位検討物質	*N*，*N*－ジメチル－*N*－オクチルオクタン－１－アミニウムの塩	難（デフォルト）	3	高	1			0.0001	0.01	100	0.122		0.01	0.001	0.05	0.005			0.35	0.0035			
3	優先度高	CAS単位	メチルシクロヘキサン	難	3	高	1			0.00067	0.067	100	0.34		0.067	0.0067	0.33	0.033			2.1	0.021			
4	優先度高	CAS単位	テトラブチルアンモニウム＝ブロミド	難	3	高	2			0.002	0.102	50	204.7	10.2			98.1		>= 10	>= 2	> 100		0.102	0.0204	
5	優先度高	CAS単位	アクリルアミド･ナトリウム＝アクリラート重合物	難（デフォルト）	2	高	3			0.027	270	10000									270	0.27			
6	優先度高	CAS単位	５－ヘキシルオキソラン－２－オン	難（デフォルト）	3	高	2			0.0018	18	10000									18	0.018			
7	優先度高	CAS単位	アルケン（Ｃ＝７～９、Ｃ＝８を高含有、分枝型）	難（デフォルト）	4	高	1			0.000087	0.87	10000									0.87	0.00087			
8	優先度高	優先評価化学物質 通し番号 149	３－クロロプロペン（別名塩化アリル）	良	4	高	1			0.00069	6.9	10000									6.9	0.0069			
9	専門家詳細評価 【資料１－３】	CAS単位	ポリ（ジアリルジメチルアンモニウムクロライド）	難（デフォルト）	5	中	1			0.0000066	0.066	10000					0.075	0.00075			0.066	0.000066			
10	専門家詳細評価 【資料１－３】	CAS単位	３－フェノキシベンジル＝３－（２，２－ジクロロビニル）－２，２－ジメチルシクロプロパンカルボキシラート	難	5	中	1			0.0000032	0.00032	100	> 0.9		0.014	0.0028	0.00032	0.000032			0.00252		0.00066	0.00013	
11	専門家詳細評価 【資料１－３】	優先評価化学物質 通し番号 257	ポリ（アザンジイルカルボノイミドイルアザンジイルカルボノイミドイルアザンジイルヘキサン－１，６－ジイル）のカチオン（窒素原子にプロトンが付加することにより生成したものに限る。）の塩	難（デフォルト）	5	中	1			0.000094	0.000945	10	0.0202		0.000945	0.000945	0.156		0.00544	0.00544	0.02545		0.0153	0.0153	
12	指定取消物質 専門家詳細評価 【資料１－４】	優先評価化学物質時の通し番号 215	テトラメチルチウラムジスルフィド（別名チウラム又はチラム）	難	5	中	1		<	0.000032	< 0.00032	10	0.0167		0.0043	0.0043	0.036		0.02	0.02	0.042		< 0.00032	< 0.00032	

生態影響に係るPNECの根拠データ

No	評価単位分類	CAS登録番号	物質名	生物種		学名	影響内容	エンドポイント	暴露期間（値）	暴露期間(単位)	原著				詳細な信頼性評価を必要としない有害性データ 【上段】評価書・データベース略称 【下段】信頼性評価基準（化審法ランク：評価書ランク）												詳細な信頼性評価を必要とする有害性データ	毒性値		毒性値(単位)	アミン類	PNEC (mg/L)	UFs	有害性クラス
											著者	タイトル	記載誌	発行年	化審法審査済 全て1	農薬登録基準 1:分散剤規定以下及び水溶解度以下	USEPA PED 1:Cかつ化審法同等試験 2:S	OECD SIDS 1:1かつ化審法同等試験 2:1又は2	EU IUCLID 2:1or2	ECHA 2:1or2	環境省環境リスク初期評価 1:Aかつ生態影響試験 2:A又はB	EU RAR 2:valid	NITE初期リスク（有害性）評価 2:採用されたデータ	ECETOC 2:採用されたデータ	EHC 2:採用されたデータ	CICAD 2:採用されたデータ	Japan C 1:GLP 2:非GLP	データ名称							
1	単位検討物質		N, N, Nートリメチルイコサンー1ーアミニウムの塩又はN, N, Nートリメチルテトラコサンー1ーアミニウムの塩又はN, N, Nートリメチルドコサンー1ーアミニウムの塩	藻類	急性	Desmodesmus subspicatus	growth rate	EC50	72	Hour		study report		2010					1								3.48		mg/L		0.0025	50	2
					慢性	Desmodesmus subspicatus	growth rate	EC10	72	Hour																0.78		mg/L				
				甲殻類	急性	Daphnia magna	mobility	EC50	48	Hour		study report		2010					1								1.39		mg/L				
					慢性	Daphnia magna	reproduction	NOEC	21	Hour		study report		2010					1								0.128		mg/L				
				魚類	急性	Danio rerio	mortality	LC50	96	Hour		study report		2010					1								3.5		mg/L				
					慢性																											
2	単位検討物質（5538-94-3）		N, Nージメチルー Nーオクチルー1ーオクタンアミニウム＝クロリド	藻類	急性	Raphidocelis subcapitata	growth rate	EC50	72	hours		study report		2017					1								0.122		mg/L		0.0001	100	1
					慢性	Raphidocelis subcapitata	growth rate	NOEC	72	hours		study report		2017					1								0.01		mg/L				
				甲殻類	急性	Daphnia magna	IMBL	EC50	48	hours	R. Hitch	study report	（試験機関：Cannon Laboratories, PPG Industry Co）	1977			core		2								0.05		mg/L				
					慢性																											
				魚類	急性	Oncorhynchus mykiss		LC50	96	hours	R. Hitch	study report	（試験機関：Cannon Laboratories, PPG Industry Co）	1978			supple		2								0.35		mg/L				
					慢性																											
3		108-87-2	メチルシクロヘキサン	藻類	急性	Pseudokirchneriella subcapitata	growth rate	EC50	72	h		既存化学物質審査シート															0.34		mg/L		0.00067	100	1
					慢性	Pseudokirchneriella subcapitata	growth rate	NOEC	72	h		既存化学物質審査シート														既存化学物質審査シート	0.067		mg/L				
				甲殻類	急性	Daphnia magna	mobility	EC50	48	h		既存化学物質審査シート															0.33		mg/L				
					慢性																											
				魚類	急性	Oryzias latipes		LC50	96	h		既存化学物質審査シート															2.1		mg/L				
					慢性																											
4		1643-19-2	テトラブチルアンモニウム＝ブロミド	藻類	急性	Chlorella vulgaris	growth rate	EC50	72	hours		study report		2015					1								204.7		mg/L		0.002	50	2
					慢性																											
				甲殻類	急性	Daphnia magna	mobility	EC50	48	hours		study report		2018					2								98.1		mg/L				
					慢性	Daphnia magna	reproduction	NOEC	21	days		study report		2020					2								>= 10		mg/L				
				魚類	急性	Danio rerio	mortality	LC50	96	hours		study report		2018					2								> 100		mg/L				
					慢性	Danio rerio	length	NOEC	34（ふ化後30日）	days		study report		2022					1								0.102		mg/L				
5		25085-02-3	アクリルアミド・ナトリウム＝アクリラート重合物	藻類	急性																											
					慢性																											
				甲殻類	急性																											
					慢性																											
				魚類	急性	Oryzias latipes		LC50	96	hour		事業者提供情報		2004												事業者提供情報	270		mg/L		10000	3
					慢性																											
6		706-14-9	5ーヘキシルオキソランー2ーオン	藻類	急性																											
					慢性																											
				甲殻類	急性																											
					慢性																											
				魚類	急性	Pimephales promelas	Mortality	LC50	4	d	Geiger,D.L., D.J. Call, and L.T. Brooke	Acute Toxicities of Organic Chemicals to Fathead Minnows (Pimephales promelas) Volume IV	Ctr.for Lake Superior Environ.Stud., Volume 4, Univ.of Wisconsin-Superior, Superior,	1988												AQUIRE	18		mg/L		0.0018	10000	2
					慢性																											

No	評価単位分類	CAS登録番号	物質名	生物種		学名	影響内容	エンドポイント	暴露期間（値）	暴露期間(単位)	原著				詳細な信頼性評価を必要としない有害性データ 【上段】評価書・データベース略称 【下段】信頼性評価基準（化審法ランク：評価書ランク）														詳細な信頼性評価を必要とする有害性データ	毒性値	毒性値(単位)	アミン類	PNEC (mg/L)	UFs	有害性クラス
											著者	タイトル	記載誌	発行年	化審法審査済 全て1	農薬登録基準 1:分散剤規定以下及び水溶解度以下	USEPA PED 1:○かつ化審法同等試験 2:S	OECD SIDS 1:1かつ化審法同等試験 2:1又は2	EU IUCLID 2:1or2	ECHA 2:1or2	環境省環境リスク初期評価 1:Aかつ生態影響試験 2:A又はB	EU RAR 2:valid	NITE初期リスク（有害性）評価 2:採用されたデータ	ECETOC 2:採用されたデータ	EHC 2:採用されたデータ	CICAD 2:採用されたデータ	Japan C 1:GLP 2:非GLP	データ名称						
7		97593-00-5	アルケン（C＝7～9、C＝8を高含有、分枝型）	藻類	急性																											
					慢性																											
				甲殻類	急性																											
					慢性																											
				魚類	急性	Oncorhynchus mykiss	mortality	LC50	96			study report		1996					2									0.87	mg/L		0.000087	10000	1
					慢性																											
8	149	（107-05-1）	3－クロロプロペン（別名塩化アリル）	藻類	急性																											
					慢性																											
				甲殻類	急性																											
					慢性																											
				魚類	急性	Oryzias latipes	mortality	LC50	48	hours	MITI 通商産業省	Biodegradation and bioaccumulation data of existing chemicals based on the CSCL Japan 塩化アリル（試料No. K-16）の濃縮度試験報告書	Hrsg.: Chemicals Inspection and Testing Institute Japan. Japan Chemical Industry Ecology-toxicology and Information Center, October 1992, S. 10-27	1992 1979				○		2	D		○					BUA Report	6.9	mg/L		0.00069	10000	1
					慢性																											
9		26062-79-3	ポリ（ジアリルジメチルアンモニウムクロライド）	藻類	急性																											
					慢性																											
				甲殻類	急性	Daphnia magna		EC50	48	hours	Contract Draft GAI			1998			○											0.075	mg/L		0.0000066	10000	1
					慢性																											
				魚類	急性	Oncorhynchus mykiss (Rainbow trout)		LC50	96	hours	Contract Draft GAI			1998			○											0.066	mg/L				
					慢性																											
10		52645-53-1	3－フェノキシベンジル＝3－（2，2－ジクロロビニル）－2，2－ジメチルシクロプロパンカルボキシラート（別名ペルメトリン）	藻類	急性	Pseudokirchneriella subcapitata	GRO(RATE)	EC50	72	Hour	中央環境審議会土壌農薬部会農薬小委員会(第8 回)	資料5 水産動植物の被害防止に係る農薬登録保留基準の設定に関する資料		2008		○					E							> 0.9	mg/L		0.0000032	100	1
					慢性	Pseudokirchneriella subcapitata	GRO(RATE)	NOEC	72	Hour	中央環境審議会土壌農薬部会農薬小委員会(第8 回)	資料5 水産動植物の被害防止に係る農薬登録保留基準の設定に関する資料		2008		○					E							0.014	mg/L				
				甲殻類	急性	Daphnia magna		EC50	48	Hour							core											0.00032	PPM				
					慢性																											
				魚類	急性	Lepomis macrochirus		LC50	96	Hour							core											0.00252	PPM				
					慢性	Pimephales promelas	死亡	NOEC	28	Day	Spehar RL, Tanner DK, Nordling BR	Toxicity of the synthetic pyrethroids, permethrin and AC 222, 705 and their accumulation in early life stages of fathead minnows and snails	ECOTOX No. 10503 Aquat Toxicol 3:171	1983							A		○					0.00066	mg/L				
11	257	（32289-58-0）	ポリ（アザンジイルカルボノイミドイルアザンジイルカルボノイミドイルアザンジイルヘキサン－1，6－ジイル）のカチオン（窒素原子にプロトンが付加することにより生成したものに限る。）の塩	藻類	急性	Pseudokirchneriella subcapitata	growth rate	EC50	72	hours		事業者提供情報		2013													0.0202	mg/L		0.000094	10	1
					慢性	Pseudokirchneriella subcapitata	growth rate	NOEC	72	hours		事業者提供情報		2013													0.000945	mg/L				
				甲殻類	急性	Daphnia magna	mobility	EC50	48	hours		事業者提供情報		2013													0.156	mg/L				
					慢性	Daphnia magna	reproduction	NOEC	21	days		事業者提供情報		2013													0.00544	mg/L				
				魚類	急性	Oncorhynchus mykiss (Rainbow trout)		LC50	96	hours	U.S. Environmental Protection Agency	Pesticide Ecotoxicity Database (Formerly: Environmental Effects Database (EEDB)) / Data Evaluation Record		1997			Core										0.02545	mg/L				
					慢性	Pimephales promelas		NOEC				事業者提供情報		2013													0.0153	mg/L				

No	評価単位分類	CAS登録番号	物質名	生物種		学名	影響内容	エンドポイント	暴露期間（値）	暴露期間(単位)	原著				詳細な信頼性評価を必要としない有害性データ 【上段】評価書・データベース略称 【下段】信頼性評価基準（化審法ランク：評価書ランク）														詳細な信頼性評価を必要とする有害性データ	毒性値	毒性値(単位)	アミン類	PNEC (mg/L)	UFs	有害性クラス
											著者	タイトル	記載誌	発行年	化審法審査済 全て1	農薬登録基準 1:分散剤規定以下及び水溶解度以下	USEPA PED 1:Cかつ化審法同等試験 2:S	OECD SIDS 1:1かつ化審法同等試験 2:1又は2	EU IUCLID 2:1or2	ECHA 2:1or2	環境省環境リスク初期評価 1:Aかつ生態影響試験 2:A又はB	EU RAR 2:valid	NITE初期リスク（有害性）評価 2:採用されたデータ	ECETOC 2:採用されたデータ	EHC 2:採用されたデータ	CICAD 2:採用されたデータ	Japan C 1:GLP 2:非GLP	データ名称						
12	215		テトラメチルチウラムジスルフィド（別名チウラム又はチラム）	藻類	急性	Pseudokirchneriella subcapitata	growth rate	EC50	72	時間	環境省	水産動植物の被害防止に係る農薬登録保留基準の設定に関する資料		2010		○														0.0167	mg/L		<	0.000032	10	1
					慢性	Pseudokirchneriella subcapitata	growth rate	NOEC	72	時間	環境省	水産動植物の被害防止に係る農薬登録保留基準の設定に関する資料		2010		○														0.0043	mg/L					
				甲殻類	急性	Daphnia magna	mobility	EC50	48	hour	National Institute of Environmental Research(NIER), Korea	Acute immobilisation of Bis(dimethylthiocarbamoyl) disulfide in Daphnia magna		2008				1												0.036	mg/L					
					慢性	Daphnia magna	reproduction	NOEC	21	d				2008			core												0.02	mg/L					
				魚類	急性	Lepomis macrochirus		LC50	96	Hour				1976			core												0.042	mg/L					
					慢性	Oncorhynchus mykiss	weight	LOEC	60	日	Van Leeuwen, C.J., A. Espeldoorn, and F. Mol	Aquatic Toxicological Aspects of Dithiocarbamates and Related Compounds. III. Embryolarval Studies with Rainbow Trout (Salmo gairdneri)	Aquat. Toxicol.9(2-3): 129-145	1986							b								<	0.00032	mg/L					